

おくすり Q&A

片頭痛に新薬が登場

片頭痛は、片側あるいは両側のこめかみや目の奥などの部位が「ズキンズキン」脈打ち・「ガンガン」響くような頭痛です。詳しい機序は不明ですが、脳内の血管が拡張することで起こるとされており、動いた時の振動で痛みが増したり、光や音・臭いを不快に感じたり、ひどくなると吐き気や嘔吐を伴うこともあります。働き世代や子育て世代の女性に多い疾患で、日常生活に支障をきたすことも少なくありません。

Q. 片頭痛にはどんな治療法がありますか？

A. 大きくわけて ①急性期治療 ②予防療法 の2種類があります。

①は頭痛発作が起こった時になるべく早く痛みを鎮めるための治療法で、スマトリプタンやエレトリプタンなどのトリプタン製剤が使用されています。比較的軽度の発作では、ロキソプロフェンなどの非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs) やアセトアミノフェンも用いられますが、片頭痛の患者さんがこのような鎮痛薬を使用しすぎると頭痛が悪化したり、慢性化したりすることがあるので注意が必要です。②は頭痛がない日も毎日お薬を飲んで、頭痛発作を起こりにくくしたり、頭痛発作が起こっても軽くすむようにするための治療法です。予防に用いられる薬としてはロメリジン塩酸塩やバルプロ酸ナトリウム、プロプラノロール塩酸塩などがあります。



Q. 新薬はどんな薬ですか？

A. ガルカネズマブ(エムガルティ®)という薬で、片頭痛を引き起こす物質の1つである CGRP (カルシトニン遺伝子関連ペプチド) の働きをブロックする注射薬です。CGRP には血管拡張作用があるため、CGRP の働きを抑えることで、片頭痛の回数減少や急性期治療薬の使用回数減少が期待できます。初回は2本、2ヶ月目からは1ヶ月毎に1本、腹部・太もも・上腕・臀部のいずれかに注射します。

Q. ガルカネズマブは誰でも使えますか？

A. 今まで既存の治療法を実施しても効果が見られなかった18歳以上の患者さんのみ使える薬です。また、ガルカネズマブの投与にあたっては『片頭痛とそれ以外の頭痛疾患を鑑別することが必要である』『アナフィラキシーなどの重篤な副作用が発現した際にも適切な対応をする必要がある』等の要件があり、それを満たした医療機関でのみ使用が許可されています。片頭痛でお悩みの方は、一度専門医へ相談してみたいかがでしょうか。

執筆薬剤師 相川 紗綾香

わたしの健康とくすり

第308号



撮影/加藤 哲教

今月の内容

- ・疾患シリーズ アドバンス・ケア・プランニング(ACP)について考えよう《連載・第2回目》
- ・ちょっとお耳を…… 抗体カクテル療法について
- ・おくすり Q & A 片頭痛に新薬が登場

2021年9月発行

発行者 八王子薬剤センター 茂木 徹
東京都八王子市館町 1097 電話 042-666-0931

協力 八王子薬剤師会

ACPとは「もしもの時に備えて、自分が望む治療や療養・ケアについて、患者さん、ご家族、医療従事者があらかじめ一緒に話し合うプロセス」です。

実際にやってみよう! (図1)

■ Step 1 あなたが大切にしたいことを考える

あなたが人生でどんな価値観を大切にしているのか考えてみましょう。例えば…●1日でも長く生きること ●身の回りのことが自分でできること ●家族や周囲に迷惑をかけないこと ●自分の役割が果たせること ●楽しみや趣味を続けること ●家族と時間を過ごすこと、などです。

■ Step 2 自分の健康について学び、あなたの望む医療・ケアを考える

加齢や身体の状態の変化に伴って自分はどんな医療・ケアを受けたいのか、病気がある場合には、今後どんな経過をたどるのか、どんな治療の選択肢があるのか、医療者に聞いてみましょう。そして人生の最終段階(終末期)に自分はどんなことを望むのかを考えてみましょう。例えば…●できる限り自宅で過ごしたい ●点滴や胃ろうなどは希望しない ●心肺蘇生や人工呼吸器などの延命治療は希望しない ●できる限りの治療を希望する ●苦痛を緩和する治療を受けたい、などです。ただし、医療やケアのことは自分の病気の原因や病状などを踏まえて考える必要があり、自分だけで考えるのは難しい場合もあります。実際に決める際には、医療者から十分な説明を受けながら一緒に考えていくことが重要です。

■ Step 3 あなたの代わりに伝えてくれる人を選ぶ

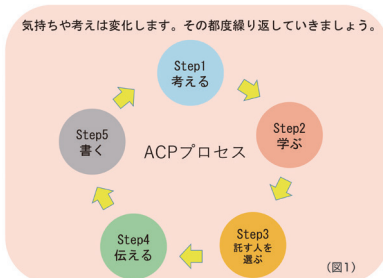
予期しない出来事や突然の病気、認知症の進行などで自分の意思を伝えることができなくなるかもしれません。そんな時、代わりに意思を伝えてくれる人(代理人)を選んでおくことが大切です。複雑で困難な状況でもあなたの希望や思いを尊重して判断できる人を選びましょう。

■ Step 4 希望や思いについて話し合い、伝える

あなたが考えた医療やケア、生活に関する希望や思いを家族、代理人や医療者へ伝えましょう。あなたの思いを周りの人に理解してもらうために重要なことは、繰り返し時間をかけて話し合うことです。しっかり話し合うことでお互いの理解を深めることができます。

■ Step 5 自分の希望や思いを文章に書く

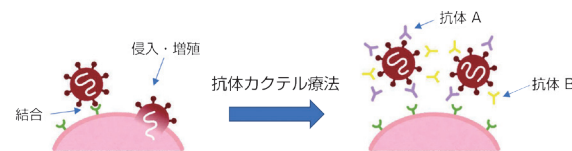
話し合ったことを記録に残しておきましょう。今のあなたの気持ちや思いは時間と共に変化したり、健康状態によって変わってくる可能性があります。その都度見直して変わって構いません。大切なことは、なぜ気持ちは変わったのかを含めて、繰り返し伝えて話し合うことです。



東京都発行のACPパンフレット・ノート (東京都保健福祉局HPから印刷できます)

Q. 新型コロナウイルス治療の抗体カクテル療法とは何ですか？

A. 新型コロナウイルスはウイルス表面のスパイクタンパク質というものを足掛かりに、ヒトの細胞表面に結合して侵入・増殖します。抗体カクテル療法では、人工的に作られたモノクローナル抗体と呼ばれる2種類の抗体を混ぜ合わせて1回で点滴し、ウイルスのスパイクタンパク質に結合させてウイルスの侵入・増殖を防ぎます。抗体を混ぜて投与することからカクテルと呼ばれます。



Q. 全ての新型コロナウイルス感染患者に使われるのですか？

A. 対象は持病や肥満などの重症化リスクのある、酸素吸入をしていない軽症から中等症の患者です。抗体カクテル療法はウイルスのヒト細胞への侵入を防ぐ目的であるため、発症から7日以内に使用されます。

Q. どれくらい効果がありますか？

A. 抗体カクテル療法の効果は、臨床試験にて「入院または死亡リスクが約70%減少した」と発表されています。これは感染患者全体の70%にイベント(入院・死亡)が認められなくなったという意味ではなく、何も治療をしていない(プラセボ)感染患者のうち3%にイベントが認められたが、抗体カクテル療法を行った場合はイベント発生が感染患者の1%(プラセボ比70%減少)であったという意味です。

Q. 変異株に対しても有効ですか？

A. 今のところデルタ株を含め、抗体カクテル療法は有効であるとされています。ウイルスのスパイクタンパク質の別々の部位に結合する2種類の抗体を混ぜ合わせているため、ある程度の変異にも有効であると考えられます。しかし今後は、現在使われている抗体が結合する2種類の部位の両方に変異をもった、新しい変異株が登場する可能性がないわけではありません。

抗体カクテル療法には重症化の抑制、病床・医療体制のひっ迫の改善に期待が高まっています。しかし8月下旬時点では薬剤の供給量が限られているため、全ての希望する患者に使用できるわけではなく、重症化リスクを考慮しながら慎重に使用患者が検討されるのが現状です。新しい治療法が登場しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の収束のためには、まずは一人一人が感染しないよう予防に努めることが重要です。(抗体カクテル療法は発症後の治療ですが、新型コロナウイルスワクチンは、注射によりウイルスのスパイクタンパク質に対する抗体をあらかじめ体内で作らせ、免疫機能に記憶させ発症を予防するものです。)